

『ごみ分別辞典』の製作に携わって

昨年の12月中旬から『ごみ分別辞典』が全戸に配布され、ご家庭で有効に活用されているものと思えます。

この辞典は、登別市衛生団体連合会の平成15年度事業の一環として、各連合町内会より推薦された22人の委員からなる、ごみ分別辞典作成委員会が、平成15年8月から平成16年5月までの間に、ごみの正しい分別と排出方法について、従来のものより一層わかりやすいものを目指し、知恵を絞りあつて作成したものです。平成15年11月には、町内会役員やクリーンリーダーなどに素案を配布し、試用してもらい、意見をいただきました。私は、平成15年4月より若草町内会環境部の仕事に携わるようになってから間もなくのことで、日

ごろ感心を持っていたテーマに委員のひとりとして参画できたことを非常に光榮に思っています。

この辞典は、『ゴミのクリンクル帳』を見直し、約770品目から約1千800品目に増やし、材質別に分別区分や指定袋の色、注意事項の欄を設け、わかりやすく解説しています。

今後、住みよい快適なまちにするために、この辞典を活用し、市民一人ひとりがルールを守り、環境美化に努めましょう。

(若草町／佐々木文二郎さん)

69歳の私の生き方

私は、2年前からときめき大学のハーモニカグループに週1回参加しています。音を出すこともままならない私ですが、メンバーはもとより、素晴らしい先生に出会い、音楽性豊かなお話しや細かい

にさまざまな面からのご指導に引き寄せられるように、練習日を樂しみに出かけています。いつの日にか、下手なりに1曲でも独奏できよう努力したいと思います。

ときめき大学は、友人に勧められて入学しました。10年前、登別へ移り住んで自然の恵みもさることながら、人々の気持ちの温かさ

に支えられ、日々暮らしています。「大根あるかい」「豆食べるかい」なんとうれしい言葉でしょう。人との出会いを大切に、心のふれあいを大事に、人を愛する心を忘れずに、人に喜んでもらえるような生き方をしたいと思っています。

『白寿まで生きる』を目標に、命ある限り勉強し、何でも笑顔で過ごせるような、そんなオバアちゃんになれるといいなあと思いつつ、今年は書道を始めのつもりです。

(登別東町／富澤光恵さん)

目標達成に向けて



登別本町／高橋杏奈さん
(登別中学校2年)

私は、登別スイミングクラブに所属していて、旧市民プールの時から活動を続けています。

私は、市民プールが新しくなって感じたことが3つあります。

1つ目は、コースが広くなり泳ぎやすくなったこと。

2つ目は、ジャグジーや歩行流水プールができて、運動の種類が充実したこと。

3つ目は、トレーニングルームが充実したこと。

これらは、どれも利用者のさまざまなニーズに対応できる素晴らしいものだと思います。私も時々有効に使わせていただいています。

私の今後の目標は、自分のベストタイムを出していくことと全国大会に出場することです。施設の利点をフルに活用し、練習もまじめに取り組み、目標を達成したいと考えています。

また、先日好評だった『ウォーターボーイズ』ショーなどの楽しいイベントを、今後も市民プールで行ってほしいです。

2005年は、多くの方に水泳の楽しさを知ってもらい、利用者が増え、スイミングクラブの仲間も増えてほしいと思います。

6

月



▲登別市健康増進計画策定委員会発足 (6月28日)



▲市民プールオープン (6月1日)
※記念式典は5月31日に行われました

2004年を振り返って⑥